



カキノキマダラメイガ



ゴマダラカミキリ



コウモリガ

樹の中に
虫がいる。

知らないうちに樹の奥深くもぐり、内部を喰い荒らすムシがいます。ガットサイドSは樹体に塗布または散布することにより、これら穿孔性害虫の食入や産卵を防止する防除効果の高い薬剤です。

ガットサイド®S

果樹の穿孔性害虫防除剤

農林水産省登録 第13410号

ガットサイドは住友化学(株)の登録商標

1. 1シーズン1回の処理で防除が可能です。
2. 工夫された製剤で高い防除効果を発揮します。
3. 原液、希釈液、いずれの方法でも使用できます。

適用害虫と使用方法

2018年5月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤およびMEPを含む 農薬の総使用回数	使用方法
みかん	カミキリムシ類	1(原液)～1.5倍	—	6月～7月 (産卵初期～産卵最盛期直前) 但し収穫90日前まで	本 剤: 1回 MEP: 5回以内 (樹幹処理は1回以内)	樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで散布
	ミカンナガタムシ	1(原液)～1.5倍	—	5月～6月 (成虫発生期直前) 但し収穫90日前まで		直径3cm以上の主枝、垂主枝、側枝に塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			直径3cm以上の主枝、垂主枝、側枝に散布
なつみかん	カミキリムシ類	1(原液)～1.5倍	—	6月～7月 (産卵初期～産卵最盛期直前) 但し収穫120日前まで	本 剤: 1回 MEP: 3回以内 (樹幹処理は1回以内)	樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			樹幹の地際部から約30～40cmの高さまで散布
	ミカンナガタムシ	1(原液)～1.5倍	—	5月～6月 (成虫発生期直前) 但し収穫120日前まで		直径3cm以上の主枝、垂主枝、側枝に塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			直径3cm以上の主枝、垂主枝、側枝に散布
いちじく	カミキリムシ類	原液	—	4月～7月 但し収穫7日前まで	3回以内	株元から結果母枝まで塗布
	アキノクイムシ	原液	—	4月～9月 但し収穫7日前まで		主幹部に塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			主幹部に散布
かき	ヒメコスカシバ カキノキマダラメイガ	1.5倍	100～1000mL/樹	産卵期～幼虫喰入初期 但し収穫45日前まで	本 剤: 2回以内 MEP: 3回以内 (樹幹処理は2回以内)	主幹部、主枝及び垂主枝の分枝部に散布
						主幹部、主枝及び垂主枝の分枝部に塗布
くり	キクイムシ類	1(原液)～1.5倍	—	3月～5月 (産卵初期)	本 剤: 1回 MEP: 4回以内 (樹幹処理は1回以内)	樹幹の地際部から約1.5mの高さまで塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			樹幹の地際部から約1.5mの高さまで散布
	コウモリガ	1(原液)～1.5倍	—	裂果前まで 但し収穫90日前まで		樹幹の地際部から約1.5～2mの高さまでの 主幹及び主枝に塗布
		2倍	100～1000mL/樹			樹幹の地際部から約1.5～2mの高さまでの 主幹及び主枝に散布
ぶどう	コウモリガ クビアカスカシバ	1(原液)～1.5倍	—	幼虫喰入期直前～喰入初期 但し収穫21日前まで	本 剤: 2回以内 MEP: 4回以内 (収穫終了後から萌芽までは 2回以内、萌芽後は2回以内)	主幹部に塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			主幹部に散布
りんご	カミキリムシ類	1(原液)～1.5倍	—	6月～7月 (産卵初期～産卵最盛期直前) 但し収穫30日前まで	3回以内	主幹部地際部から約50cmの高さまで塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			主幹部地際部から約50cmの高さまで散布
	シコクアナアキゾウムシ	1(原液)～1.5倍	—	5月下旬～6月下旬 (産卵期) 但し収穫30日前まで		主幹部地際部から約50cmの高さまで塗布
		1.5倍	100～1000mL/樹			主幹部地際部から約50cmの高さまで散布
もも	コスカシバ	1.5倍	—	収穫30日前まで	本 剤: 1回 MEP: 6回以内 (樹幹処理は1回以内)	樹幹部及び主枝に塗布
			100～1000mL/樹			樹幹部及び主枝に散布
なつめ	カミキリムシ類	1(原液)～1.5倍	—	収穫30日前まで	1回	樹幹部及び垂主枝に塗布
くるみ	コウモリガ	1.5倍	100～1000mL/樹	収穫30日前まで	2回以内	樹幹部及び垂主枝に散布
		原液	—	収穫7日前まで		樹幹の地際部から約1.5mの高さまで塗布

使用上のポイント

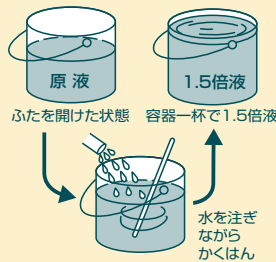
使用前に

使用前に塗布または散布しようとする樹幹等に付着している土砂および樹の根元の土をあらかじめ除去してください。

1.5倍液を作る場合

容器は1kg缶、5kg缶共、容量の大きい缶が使用しており、その2/3にガットサイドSが入っています。缶のふたをとって、かくはんしながら容器一杯に水を入れると1.5倍液になります。

1.5倍液の作り方



原液または希釈液を塗布する場合

樹木の表面にハケなどで、ていねいに塗布してください。自動車の洗車用ブラシなどを利用すると手軽に塗布できます。

薬剤の必要量

直径10cmの木に、長さ30cmで塗る場合、1kgの原液で約10本(1.5倍量使用で約15本)に使用できます。

使用上の注意事項

(詳細はラベルをご参照ください)

- 使用量にあわせ秤量し、使いきってください。
- 使用した刷毛をそのまま放置すると薬液の固化とともに毛の部分が堅くなるので、使用直後に水で十分洗ってください。
- アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 本剤の使用に際しては、果実に付着しないように十分に注意してください。
- 本剤を産卵、喰入防止に使用する場合は残効性は短く、使用時期を失すると効果が劣るので、適期にむらなく、ていねいに使用するよう注意してください。柑橘のカミキリムシ類、りんごのカミキリムシ類防除には6～7月の産卵最盛期直前、くりのキクイムシ類防除には芽出し直前(産卵初期)、りんごのシコクアナアキゾウムシ防除には5月下旬～6月下旬(産卵期)が使用適期です。



- 雨天や降雨前後の使用は効果が劣るのでさけてください。
- 薬液が葉にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように散布してください。特に新葉時期は薬害が生じやすいので散布は注意してください。
- あぶらな科作物を初め、作物の茎葉には薬害を生じるおそれがあるので付近の作物にはかからないように注意して使用してください。
- 適用表に記載された所定の部位に薬液が十分付着するよう、ていねいに処理してください。
- もものコスカシバ及びかきのヒメコスカシバ、カキノキマダラメイガに対しては産卵防止効果及び喰入防止を主体に春～秋の産卵期～幼虫喰入初期に処理してください。なお、喰入後の幼虫に対しては使用する場合は、あらかじめ粗皮や虫糞を取除いてから塗布又は散布すると効果的です。カキノキマダラメイガは樹幹の分枝部に被害が多いので分枝部を主点に処理してください。

- いちじくのクワカミキリに対して産卵忌避効果は劣るが、産卵痕に塗布すると効果的です。
- 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に薬液がかかると変色するおそれがあるので、薬液がかからないように注意してください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行ない、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

30H5E18G03-Z

2018年5月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐくへ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

